

# 地域経済の活性化や災害時におけるリダンダンシーの確保に資する道路整備の予算支援について

【担当省庁：財務省、国土交通省】

## 1 道路整備に関する財源の確保

京都府の道路整備の財源は、必要事業費に対して内示額が大きく下回っている状況が続いており、地域経済の活性化や災害時におけるリダンダンシーの確保のための着実な道路整備や計画的な維持管理が困難な状況である。

- **社会資本整備総合交付金（道路事業、広域連携事業）、防災・安全交付金（道路事業）等の道路関係予算について増額をお願いしたい。**
- 一日でも早く事業効果を発現するために、**補正予算の確保**をお願いしたい。

## 2 道路整備に関する財政上の特例措置の継続

京都府内の道路整備は全国平均より遅れており、府民の安心・安全の確保や高速道路等のストック効果を府域に広げるための道路整備を含め、道路整備財源を安定的に確保する必要があることから、道路整備に関する**特例措置である国の負担又は補助の割合の嵩上げ措置**※について、**平成30年度以降も継続**していただきたい。

※道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律  
(嵩上げ：府5%、市町村5～20%)

京都府の担当課 建設交通部 道路計画課 (075-414-5246)

### ■概算要求

【国土交通省】

▼ICアクセス道路等補助事業 349億円 (29年度当初予算300億円)

ICへのアクセス道路など、規模が大きく、複数年にわたる計画的な支援が必要な事業等について、新たに個別箇所毎に計画的かつ集中的な支援が可能となる仕組みを検討

▼大規模修繕・更新補助事業 104億円 (29年度当初予算90億円)

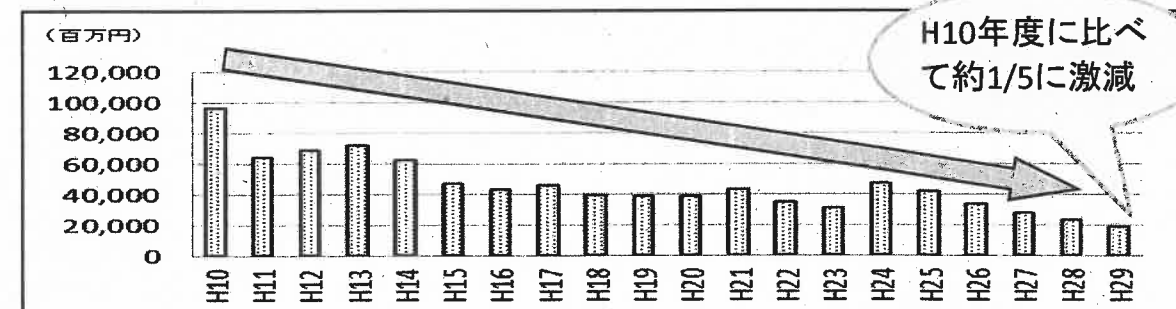
複数年にわたり計画的かつ集中的な投資が必要になる大規模修繕・更新に対して、個別箇所毎に支援

### ■H29年度の交付金の内示状況

▶内示額が所要額を大きく下回る状況 (大幅な予算不足：約140億円) (百万円)

計画名	H29所要額		H29内示額		内示との差
	比率	比率	比率	比率	
重点計画 【アクセス・老朽化・通学路等】	15,638	71.8%	6,511	83.7%	▲9,127
非重点計画 【緊急輸送路・府県境道路・法面防災等】	6,132	28.2%	1,266	16.3%	▲4,866
合計	21,770		7,777		▲13,993

### ■道路関係予算(事業費)の推移 (年度最終予算、H29は当初予算)



### ■京都府管理道路の改良率

▶京都府の道路改良率は63.5% (全国41位)

	一般国道	主要地方道	一般府道	合計
全国平均	87.0%	78.4%	62.4%	73.0%
京都府管理道路	88.6%	65.8%	47.2%	63.5%

※京都府の道路改良率は全国41位と遅れており、新名神等の国土軸の整備効果を府域に波及するためのアクセス道路整備や緊急輸送道路のバイパス整備など、大規模事業を多く抱えている。

### ■特措法の定めによる負担率

	道路法	特措法
国の負担	50%	55%
都道府県の負担	50%	45%

⇒ +5% ⇒ ※特措法の期限がH29年度で終了  
⇒ ▲5% ⇒ ※5%の負担を府で補填するには厳しい状況にある

### 3 大規模事業の補助事業での実施

交付金により実施中の道路事業には、以下のように複数年にわたり計画的かつ集中的な投資が必要となる事業があるため、補助事業の新規制度化や既存補助制度の拡充をお願いしたい。

#### 〔新規制度化〕

- 高規格幹線道路（新名神高速道路）の新設ICへのアクセス道路整備事業〔府道宇治木屋線（犬打峠）〕
- 京都縦貫自動車道や舞鶴若狭自動車道などの既設ICへのアクセス道路整備事業〔国道423号（法貴バイパス）、府道小倉西舞鶴線（白鳥トンネル）〕
- JR奈良線の高速化・複線化第二期事業と時期を合わせて行う駅アクセス道路整備事業〔府道向島宇治線（宇治駅アクセス）〕

#### 〔既存補助制度の拡充〕

- 橋梁の老朽化による架け替え事業
  - ◆対象事業費の引き下げ〔府道郷ノ口余部線（宇津根橋）〕
  - ◆近傍路線での集約・撤去事業への対象拡大〔府道綾部宮島線（肱谷バイパス）〕

#### ■補助事業化要望箇所

- |                 |                                   |
|-----------------|-----------------------------------|
| ○宇治木屋線（犬打峠）     | :新名神高速道路の新設ICへのアクセス(H29～35、65億円)  |
| ○国道423号（法貴バイパス） | :京都縦貫自動車道の既設ICへのアクセス(H25～32、42億円) |
| ○小倉西舞鶴線（白鳥トンネル） | :舞鶴若狭自動車道の既設ICへのアクセス(H26～32、29億円) |
| ○向島宇治線（宇治駅アクセス） | :JR奈良線の複線化に合わせた駅アクセス(H26～34、29億円) |
| ○郷ノ口余部線（宇津根橋）   | :老朽化による架け替え(H26～34、41億円)          |
| ○綾部宮島線（肱谷バイパス）  | :老朽化による架け替え、集約・撤去(H26～34、29億円)    |